

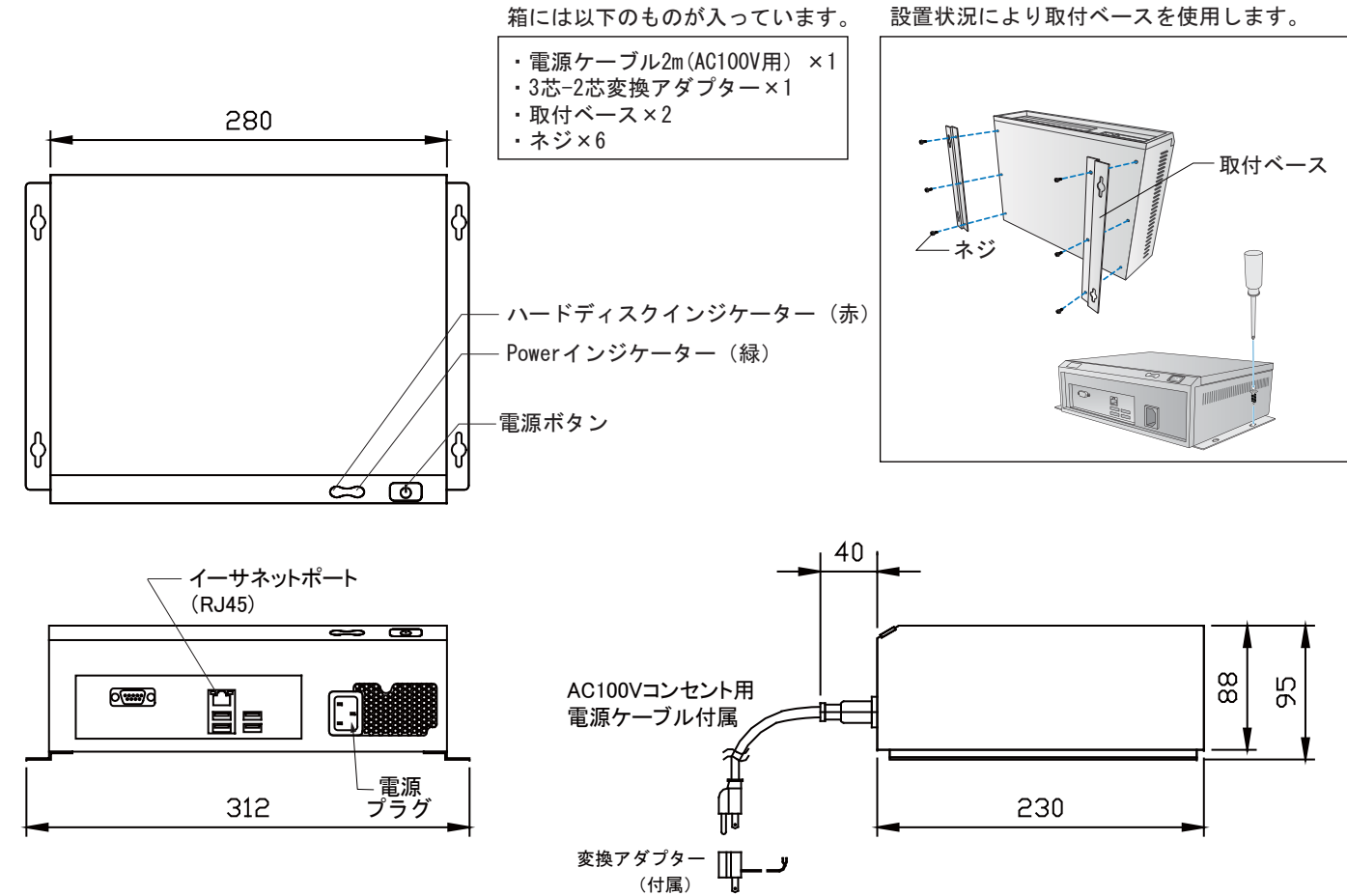
Light System Manager

ライトシステムマネジャー
ユーザーガイド
取扱説明書

工事店様へ、工事が終わりましたらこの取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。
お客様へ、この取扱説明書はお読みになった後も必ず大切に保管してください。

本書では、フィリップスのイーサネット・コントロールシステム Light System Manager (ライトシステムマネジャー / LSM) の基本的な取扱方法および運用方法についてご説明します。

■ Light System Manager概要



注意：本マニュアルに記載されていない接続ポートやスイッチは、使用しないでください。故障の原因となることがあります。

■ プログラム再生用ハードウェアの取扱方法

◆ 電源の入れ方

- 電源プラグに付属のAC100Vコンセント用電源ケーブルを接続してコンセントに差し込みます。(AC200Vでご使用の場合は別途AC200用の電源ケーブルをご用意ください。)
- 電源ボタンを押してください。システムが起動開始し、Powerインジケータが緑色で点灯します。
- システム稼働中は、ハードディスクインジケータが赤色に点滅します。
※ 保存した演出内容によって異なりますが、起動するのに数分かかる場合があります。

◆ 電源の切り方

- 電源を切るには、電源ボタンを押します。Powerインジケータ・ハードディスクインジケータが消灯し、ハードドライブが停止したことを確認してください。
- ブレーカーなどの一次側電源は、最後に切ってください。

注意：本製品はコンピューターをベースとしたハードウェアです。起動中にいきなり電源ケーブルを抜いたり、電源ボタンを使わずに一次側電源のブレーカーなどから直接電源を切ると、製品不具合、故障の原因となりますのでご注意ください。

■ システムの管理について

Light System Managerによるイーサネット・コントロールシステムでは、コントローラーハードウェア、パワー/データサプライ、ライトといった各機器を、イーサネットスイッチを介して接続し、独自のネットワークを構築します。一般のLANとの兼用敷設は出来ませんのでご注意ください。

※ イーサネットスイッチは「マネージドモード」機能があるDELL製Power Connect 2700シリーズのギガビット・スイッチを推奨します。マネージドモードはデータ通信が不安定な場合に復旧を助ける機能があります。

◆ システム構成 I

ショーの呼び出しと消灯に、イーサネット・コントローラーキーパッドを使用

- A コントローラー (Light System Manager)
- B イーサネット・コントローラーキーパッド (別売)
- C イーサネットスイッチ (別売)
- D パワー/データサプライ (別売)
- E PoE インジェクター (別売)

◆ システム構成 II

ショーの呼び出しと消灯に、RS232を使用 (コントローラーのシリアルポートから)

- A コントローラー (Light System Manager)
- B RS232機器 (別売)
- C イーサネットスイッチ (別売)
- D パワー/データサプライ (別売)



※ RS232 シリアルプロトコルについては別途アプリケーションノートがご用意されています。詳細はお問い合わせください。

※ C、D の接続は ◆ システム構成 I と同様

◆ 電源のとりの方

電源回路およびタイマーの設定は、下記 1. 2. を参考にしてください。

1. コントローラーの電源は、独立して制御できるようにする。

A (コントローラー) の電源は、本体ボタンの電源スイッチから切る必要があります。コントローラーの電源系統は他のシステムから独立させ、ブレーカーから電源を落とされることのないようご注意ください。

メンテナンスなどでやむを得ず電源を切る必要がある場合も、まず本体ボタンでOFFにしてからAC100V (または200V) の供給を止めてください。※AC200Vでご使用の際は、別途電源ケーブルをご用意願います。

2. パワー/データサプライおよびイーサネットスイッチのブレーカーは、小分けに制御できるようにする。

これは、システムトラブルに備えた対策です。システムの電源をいったん落とした場合、稀に再起動後ライトが正しく作動しない場合があります。この症状が出た場合、該当するパワー/データサプライやイーサネットスイッチの電源を入れ直す必要がありますので、ブレーカーは小分けにしておいてください。

(◆ システムの運用方法 ② パワー/データサプライの電源を操作する場合 注意 2. 参照)

◆ システムの運用方法

演出の開始 (点灯) と演出の終了 (消灯) のしかたは、下記 ① ② ③ を参考にしてください。

コントローラーの電源操作によるライトのON/OFFはできません。

- ① コントローラーの信号切り替えで操作する場合 — 黒色点灯による消灯 —

上記のシステム構成「B」(コントローラーキーパッドまたはRS232機器)で点灯/消灯を操作します。このとき全ての機器の電源は入れたままにしておき、演出を終了したいときは黒色点灯のデータを流すことでライトを消灯します。たとえば、上記◆システム構成Iのようにイーサネット・コントローラーキーパッドを使用する場合は、キーパッドの「OFFボタン」が黒色点灯と同じ機能をもっていますので、OFFボタンを押してライトを消します。

- ② パワー/データサプライの電源を操作する場合

上記のシステム構成「D」(パワー/データサプライ)の電源の入り切りを行うことで点灯/消灯を操作します。

この時コントローラーの電源はONにしデータを流した状態にしておきます。ただし、以下の点にご注意ください。

注意 1. パワー/データサプライの電源を入れたとき、ライトが点灯するのに多少の個体差があります。したがって全てのライトが誤差なく演出を開始するようにしたい場合は、電源を入れるときコントローラーから黒色点灯のデータを流しておき、パワー/データサプライの電源を入れた後、しばらくしてから、点灯データに切り替えてください。

注意 2. パワー/データサプライへの電源供給とともに大量のデータが一度にシステム上に流れることで、稀に一部の機器にデータが正常に受け渡しされずライトが正しく作動しない場合があります。この場合まず、該当するライトのパワー/データサプライの電源を入れ直してください。それでも復旧しない場合は、該当するイーサネットスイッチに接続されているLANケーブルの抜き差しと電源の入れ直しを実施してください。